



脳の働きのバランス あゆみの見方も変わります

8月も終わりを迎えようとしていますが、秋の気配のない厳しい残暑が続いています。

今年は新型コロナウイルス感染防止のため、必然的に子どもたちは家の中で過ごすことが多くなっていることと思います。室内での遊びというよりはゲームをしている姿が頭に浮かびますが、ゲームに使う時間の長さはいかがでしょうか？また、ゲーム以外でも動画を見る時間なども気になるところです。

2年前に、世界保健機関が「ゲーム依存症」を「ゲーム障害」として疾患名に入れたことは記憶に新しいところです。



当時韓国では、学習意欲や食欲をなくしたり、キレて暴れたりする子どもたちが多くなり、かなり深刻な問題になっていました。やはりゲームは時間を決めるなど、家庭で決めたルールを守りながら楽しむことが大切です。脳の働きのバランスを保つためにも、読書を勧めていただければと思います。本を読んだり、文章を書いたりすると、脳の働きが進むよう



です。

特に声を出して読む「音読」は脳の血流を活発にする働きがあり、痴呆の抑制にも効果があるということです。

子どもたちの自己管理能力が未発達なのは当然のことです。私たち大人がしっかりと見守り、メディアなどから離れる時間を確保してあげることが大切です。家庭と学校で連携しながら子どもたちへの言葉掛けをしていけたらと考えます。

今年度から、新しい学習指導要領の実施に伴い、あゆみの様式、配付の回数や時期が変更となることにつきましては、学校便り No.5 でお知らせしたとおりです。今回は、あゆみの見方につきましてお知らせいたしますので、ご確認いただき、昨年度までとの違いにつきましてご了承くださいませよう、よろしくお願いいたします。

1 評価の観点について

新しい評価の観点と内容は次の通りです。具体的な評価の内容は、各学年の通知表に掲載していますのでご覧ください。

観 点	趣 旨
知識・技能	一人一人の知識や技能が身に付いているかを評価する。
思考・判断・表現	知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価する。
主体的に学習に取り組む態度	学習の目標を達成するために、粘り強い取組を行おうとしていたり、自ら学習を調整（学習の見直しをもつ、学習課題に沿う、今までの学習を生かすなど）したりしようとする力を評価する。

2 評定について

昨年度までと大きく違うのは、「目標に達している」評定が(A)から(B)に変わったことです。

評定A（「十分に満足できる」状況）と判断する場合は、お子さんの学習状況が目標に達している上に、質的な高まりや深まりを十分にもっていると判断した時となります。従いまして、昨年度までのあゆみより「評定 A」数は少なくなり、「評定 B」の数が多くなります。

それはお子さんの成績が下がったわけではありません。新しいあゆみにおける「オール B」は、かつてのあゆみの「オール A」と同じです。

ご理解の程、よろしくお願いいたします。

昨年度までの評定	今年度からの評定
A：目標に達しています	A：目標に十分達しています
B：目標に近づいています	B：目標に達しています
C：努力を要します	C：努力を要します

いじめ・非行防止エリアTV会議

7月20日（木）の午後3時から、翔陽中学校エリアファミリー（翔陽中・帯広小・東小・柏小）の生徒会・児童会代表による、いじめ・非行防止テレビ会議を行いました。

帯広市では毎年、全小中学校の代表児童生徒が一堂に会して、いじめ・非行防止についての会議を行い、秋にはエリア毎に第2回の会議を実施していました。しかし、今年度は新型コロナウイルス感染防止のため中止となり、他校との交流もできない状況でした。

しかしコロナ禍といえども、いじめが起これないわけではありません。逆にコロナ禍による子どもたちのストレスなどが原因で、例年よりいじめが起こる可能性が高くなるのではと考えます。

そこで、テレビの画面を通して各校のいじめ防止の取組などを交流する本会議を実施しました。30分程度の短い時間でしたが、中学生のリーダーシップにより、初めての試みとしては実のある内容になったと思います。本校は児童会長が代表として参加し、自分たちの取組の紹介や質問など立派に役目を果たし、会議後には「中学校の取組がわかり勉強になった。小学校でも生かしていきたい」旨の感想を述べていました。この経験や得た情報を、是非とも、いじめのないよりよい学校生活づくりに生かしてほしいと期待しています。

安心は安全の敵

地球温暖化などの環境の変化が影響し、過去に思い起こすことができないような激しい雨や台風が多くなり、自然災害の恐ろしさをまざまざと見せ付けられる場面が多くなってきました。最近では過去最高の気温も記録するなど、熱中症への対応もより重要となっています。「危機は自分の身の回りに起こるはずがない」「自分は大丈夫」等の意識は、誰の胸にも潜んでいるかもしれません。しかし「安心は安全の敵、心配は安全の友」と言われるように、危機意識をしっかりとつこと、命を最優先に考えることは絶対に必要です。

先日、学校では休み時間における避難訓練を実施しました。休み時間ということもあり、私語や真剣ではない態度も見られました。「危機は予期せぬ時に起きます。どんな時も訓練には真剣に参加すること」と子どもたちに話しました。これから危機回避能力をしっかりと育てていきます。



9月の予定

1	火	校長会役員研修会
2	水	ALT 来校日 耳鼻科検診1年 学年研修
3	木	内科健診 4~6年・若草学級
4	金	尿検査一次 ALT 来校日
5	土	
6	日	
7	月	個人懇談週間(1日1日迄5時間授業) 学級写真撮影
8	火	内科健診 1~3年 校長会議・研修会 二計測・若
9	水	学級写真撮影 学年研修 二計測6年
10	木	学級写真撮影 教頭・主幹会議・研修会 二計測5年
11	金	ALT 来校日 学級写真撮影 児童会 二計測4年
12	土	
13	日	
14	月	研修日 学校教育指導訪問二次 二計測3年
15	火	尿検査二次 帯広市学力・学習状況調査6年 二計測2年
16	水	ALT 来校日 学年研修 二計測1年
17	木	
18	金	ALT 来校日 定時退勤日
19	土	
20	日	
21	月	敬老の日 ~9/30 秋の交通安全運動
22	火	秋分の日
23	水	給食費納入日・高
24	木	給食費納入日・中
25	金	給食費納入日・低 給食費引落日 ALT 来校日 歯科検診 定時退勤日
26	土	
27	日	
28	月	給食費納入日・予 生徒指導交流会 教育相談
29	火	
30	水	心臓検診1年 月末統計